

令和6年度 学校評価 自己評価書（1学期）

1 学校の重点目標

- 「自尊感情」「自己有用感」の育成～どの子どもも心から「学校が楽しい」と思える中山小を目指して～
- 子どもたちの夢の実現につながる確かな学力の定着～ラスト10分のチャレンジ～
- 体力の向上・健康的な生活習慣づくりの指導の充実～チャレンジかごしまへの取組・むし歯治療率85%～

2 課題と解決策（評価の基準 4：達成率80%以上 3：60～79% 2：40～59% 1：39%以下）

子供像・重点課題	評価項目	職員の評価 (1年前との比較)	評価結果と2学期の改善方策
思いやりのある情操豊かな子ども	1 元気な挨拶・会釈の指導	2.9 (+0.3)	・以前より改善されているが、まだ個人差が大きいので教師が率先して挨拶する。
	2 自尊感情・自己有用感を育てる学級づくり	3.0 (+0.1)	・子どもたち同士の褒め合いや教師による称賛の場をさらに増やしていく。
	3 朝読書・図書室利用の推進による心の安定	2.9 (-0.2)	・子どもが図書室に足を向ける機会を増やす。
	4 「揃える」指導の工夫・徹底(スリッパ・机・いす)	2.8 (+0.3)	・教師による継続的な声かけと称賛に努めていく。
自ら考え共に学ぶ子ども	5 主体的・対話的で深い学び	3.0 (+0.1)	・子どもたちの話し合いの場を設定したり、ICTを使った発表の機会を設けたりする。
	6 ラスト10分のまとめ・習熟の時間の確保・確実な見届け	2.8 (±0.0)	・おさえるべきことをしっかりおさえ、習熟を図る時間を確保する。
	7 授業と連動した家庭学習の充実	3.5 (+0.2)	・家庭とも連携しながら、子どもの学力向上に努める。
	8 学習の準備等の生活習慣の確立	3.1 (+0.1)	・メモを活用したり、通信等で呼びかけたりしていく。
進んで最後までやり抜く子ども	9 教科体育や自主的な体力づくり	3.0 (±0.0)	・「縄跳び」を中心とした体力づくりの時間を設定し、保護者へも知らせる。
	10 ルールやマナーを守った安全な登下校の指導の徹底	3.1 (+0.3)	・特に登下校時のマナーについて、保護者や地域と連携していく。
	11 むし歯治療率85%の推進	2.9 (-0.2)	・保護者への啓発を、これからも継続していく。

3 2学期に向けての取組

- 図書室の利用推進を、これまで以上に促し、ちょっとした隙間時間に読書ができるように本の置き場所を工夫するなどしていく。また、家庭での読書についても啓発を続けていく。
- むし歯等の治療勧告を、1学期同様継続していく。
- 今後も、子どもたちの話をよく聴き、ほめ言葉などの声かけを継続していく。また、保護者とも連携を取りながら、子どもの健全育成に努めていく。